

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
令和8年3月発行・第226号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877



「もしもに備えて・・・」

三光保育園の子育て支援センターが開所して19年が経ちました。この間、参加して下さる方（主にお母さん方）のご意見も参考にしながら次年度の開講講座を決めてきました。園外講座では、畑で芋を掘る体験や防災講座、環境講座など、子どもを守る親（大人）としてぜひ持ってほしい知識を専門の方々に教えて頂いています。

先日、幼稚園では避難訓練の仕上げとして、シークレット（事前予告なし）で地震の時の避難訓練を行いました。小春日和の下、運動場では子ども達が楽しそうに運動遊びに取り組む中、「PU! PU!、地震です! PU! PU! 地震です!・・・」という緊急アラームが流れると、大人も子どもも一瞬体が止まり、その場に腰を下ろし近くの大人の指示を待つ子、慌てて園舎に走り出す子等、反応は様々でした。

その後、各場所での安否確認、点呼など行っていききましたが、毎回違う課題が見つかり対応に悩みます。ただ最近では、全員で悩み考えることが重要なのだと感じています。佐賀平野にも活断層帯があることから、各ご家庭でも是非話題にして、もしもに備えをしておきましょう。

来年度のぽぽらの講座に取り組んでほしいこと等ありましたら、アンケートにぜひご記入ください。

今年度もご利用ありがとうございました。

2月も感染症に気をつけながら、楽しく支援活動を楽しみました。来年度もよろしくお祈りします。



【おにぎり&ふりかけ作り】

みんなで作って食べました(*^*)美味しかったね♪



【アロマ講座】

アロマセラピー「芳香療法」を学びました



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方にお越し頂き、楽しいひと時を過ごしています。今年度を振り返り、来年度に向けてお話しませんか。

日時：3月3日（火）10時～

保育園の子どもたちとひな祭り会と誕生会を開催します。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽に申し込みください。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九州大学短期大学部教員による食育相談を行っています。

※平常時は下記のような支援も行ってまいります。しかし、時節柄、利用できる期間が限られていますので、ご理解をお願いいたします。電話での子育て相談は随時、受け付けておりますので、ぜひご利用下さい♪

ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

開園日：月～金（祝祭日・お盆・年末年始を除く）

時間：9:00～12:30

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園

13:30～16:00

※この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。



〇3月の「子育て支援事業」のお知らせ〇

①実施日

- ・3月9日(月)…育児講座「おしゃべり会」
- ・3月6日(金)・11日(水)・13日(金)…フリーデー
- ・3月12日(木)…高木瀬あいあいサークル支援
※高木瀬公民館で開催します。
- ・3月17日(火)…高木瀬あいあいサークル支援
※高木瀬公民館で開催します。

②時間：10時～12時

③開催場所：子育て支援センター・運動場

※さんこうぽぽらHPにて申し込みが必要です。

3月1日(日)10時 申込開始(育児講座のみ)

※フリーデーは予約は必要ありません。ご都合が付く日にご来園ください。

『子育て便り』

幼児期における「数概念」の獲得 ～一生の論理的思考を支える根っこ～

幼児保育学科 教授 川邊浩史

お子さんが「いち、に一、さーん」と指をさして数え始めたとき、私たちはつい「数字を覚えた！」と喜びがちです。しかし、発達心理学の視点で見ると、言葉としての数字（数唱）を覚えることと、「数という概念」を本当に理解することの間には、発達のステップがあります。そこで、幼児期に育まれる数概念の本質と、それが将来どのような力につながるのかを考えていきましょう。

1. 「数唱」から「数概念」へのステップ

幼児期の数の理解は、単なる暗記ではなく、以下の3つの重要なステップを経て成熟していきます。

- 1対1対応の原則：「りんご」と「1」という数字を正しく結びつける力です。指で一つずつ指しながら、数え飛ばしたり二重に数えたりせずに進める力は、集中力と空間把握能力の賜物です。
- 集合数の理解：「1、2、3……全部で3個！」と、最後に言った数字がそのグループ全体の量を表していると気づく段階です。これは抽象的な思考の第一歩です。数学的には序数とも言います。
- 保存概念の獲得：有名な心理学者ピアジェが提唱した概念です。例えば、並んだ5つの石を「広げて置いた」としても、数は変わらないと理解すること。見た目の変化（長さや広さ）に惑わされず、本質的な「量」を捉える力です。

2. 数概念が将来の何につながるの？

幼児期の「数遊び」は、算数のテストで良い点を取るための準備ではありません。それは、生涯にわたる「思考の基礎」を構築する作業です。

- 論理的思考力と問題解決能力：数は、この世界を整理するための最も強力なツールです。「あっちの方が多い」「これを分けるとこうなる」という推論は、論理的な脳を育てます。
- 抽象化能力（本質を掴む力）：「3個のりんご」と「3頭のゾウ」は、見た目は全く違いますが、「3」という共通の性質を持っています。具体的なモノから共通点を見出し、抽象化して考える力は、将来のビジネスやクリエイティブな活動において、複雑な事象をシンプルに整理する力へと直結します。

3. 保護者のみなさまへ：日常でできること

特別な教材は必要ありません。おやつを分けるとき、階段を上るとき、おもちゃを片付けるとき。「あといくつかな？」「お母さんとどっちが多いかな？」といった日常の対話が発達支援になります。そして、正解を教えることよりも、お子様が「あれ？不思議だな」と考え、試行錯誤するプロセスを、ぜひ一緒に楽しんでください。その温かなやり取りの中で育った「数の感覚」は、将来お子様が広い世界を理解するための、確かな礎となるはずです。